

高知県金融経済概況

【概 論】

高知県の景気は、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱めの動きがみられる。

前回の概況公表時（8月上旬）以降の県内景気を見ると、個人消費は持ち直している。観光は弱めの動きがみられる。公共投資は横ばい圏内で推移している。設備投資は持ち直しの動きが続いている。住宅投資は減少している。この間、製造業の生産は一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移している。そうしたもと、労働需給は求人面で弱さがみられるものの、引き続き引き締まった状態となっている。雇用者所得は着実に増加している。

先行きについては、企業・家計の両部門において、所得から支出への前向きな循環が続くもとで、持ち直しの動きが続くとみられる。ただし、①コスト上昇と価格転嫁の動向、②人手不足の影響と賃金の動向、③海外経済の動向の影響等について、注視していく必要がある。

【各 論】

1. 需要項目別の動向

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、24/8月は前年を下回った（24/8月前年比：▲5.3%）。

設備投資は、持ち直しの動きが続いている。

2023年度の設備投資額（24/6月短観）は、非製造業を中心に前年度を下回って着地（全産業前年度比：▲22.3%）。

2024年度の設備投資額は、積極的な設備投資が行われるもとで、製造業を中心に前年度を上回る計画となっている（同：+3.6%）。

この間、企業からみた生産設備や営業用設備の過不足感（24/6月短観）は、過剰超となっている（生産・営業用設備判断D.I. <「過剰」－「不足」>、24/3月：+3→24/6月：+6）。

個人消費は、持ち直している。

大型小売店¹、家電量販店の販売動向、乗用車新車登録台数（24/7月前年比：+6.0%）は、持ち直している。コンビニエンスストアの販売動向、旅行取扱高は、持ち直しのペースが鈍化している。

観光は、弱めの動きがみられる。

24/7月の県内の主要観光施設への入込客数（24/7月前年比：▲17.1%＜速報値＞）は、前年を下回った。主要旅館・ホテルの宿泊客数（同：+0.7%）は、前年を上回った。

住宅投資は、減少している。

24/7月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った（24/7月前年比：▲39.9%）。

2. 生産

製造業の生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移している。

機械は、一部で弱めの動きとなっている。食料品、鉄鋼は、横ばい圏内で推移している。窯業・土石製品、パルプ・紙・紙加工品は、弱めの動きが続いているものの、全体としては下げ止まっている。

3. 雇用・所得

労働需給は、求人面で弱さがみられるものの、引き続き引き締まった状態となっている。

24/7月の有効求人倍率は、前月を上回った（24/7月：1.08倍）。

雇用者所得は、着実に増加している。

24/6月の1人当りの現金給与総額は、前年を上回った（24/6月前年比：+2.0%＜速報値＞）。

4. 物価

消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、足もとでは2%台後半となっている（24/7月前年比：+2.8%）。

5. 企業倒産

企業倒産は、低めの水準で推移している（24/8月：倒産件数4件＜前年2件＞、負債総額700百万円＜同2,850百万円＞）。

¹ 県内の百貨店、ショッピングセンター、スーパー等。

6. 金融

実質預金(銀行、信金、信組)は、前年を上回っている(24/7月末残前年比: +0.6%)。

貸出(同)は、前年を下回っている(同: ▲0.9%)。

貸出約定平均金利(銀行、信金)は、前月を上回っている(24/7月: 1.228%)。

以 上

【本文中の使用計数等の出所】

- ・ 乗用車新車登録台数: 四国運輸局「自動車保有台数と販売状況速報」、主要観光施設への入込客数: 高知県「月別観光施設利用実績」、新設住宅着工戸数: 国土交通省「建築着工統計調査報告」、公共工事請負金額: 西日本建設業保証株式会社「高知県内の公共工事動向」、有効求人倍率: 厚生労働省「一般職業紹介状況」、現金給与総額: 高知県「毎月勤労統計調査地方調査」、消費者物価(高知市、生鮮食品を除く総合): 総務省「消費者物価指数」、企業倒産: 東京商工リサーチ「高知県企業倒産状況」。
- ・ その他の項目は、日本銀行高知支店が個別に収集したもの。
- ・ なお、利用統計は公表月によって異なる。